



Fujisawa
vision

新総合計画 「ふじさわモデル」のポイントについて

～「市民力」「地域力」を発揮した新しい時代へ～

2009年（平成21年）7月2日

新しい策定フレームの理念

3つのCHA

経済社会情勢等の変化を
「市民力」「地域力」を
発揮したまちづくりに

Chance に

Change

新しい計画策定フレームに

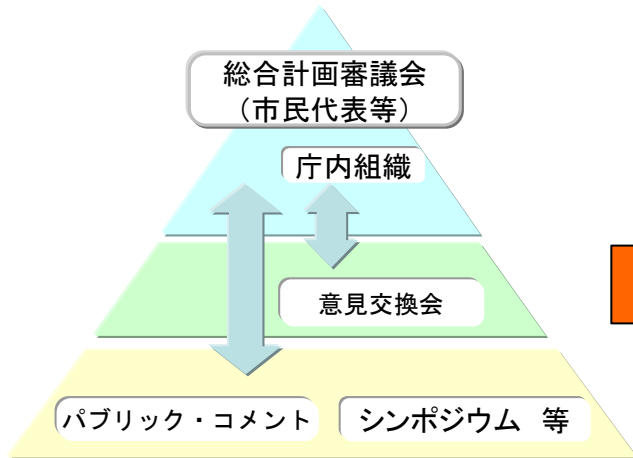
Challenge

市民の目線で、湘南藤沢の未来を創造していきます。

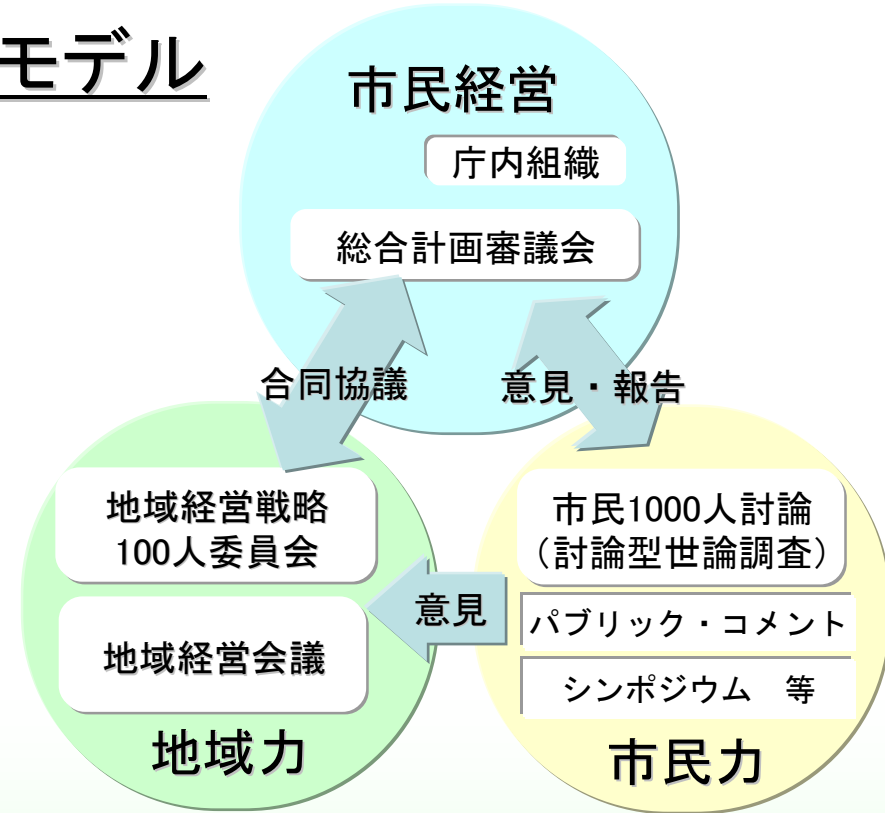
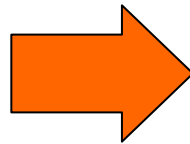


①三層構造による参画効果アップ

従来モデル



ふじさわモデル

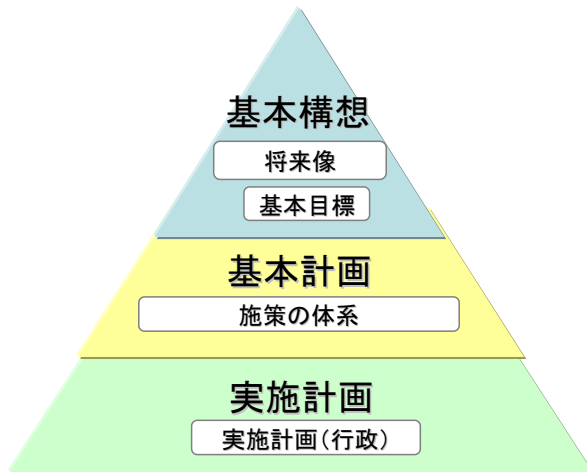


幅広い市民参画と市民による市民のための計画策定を実現します。

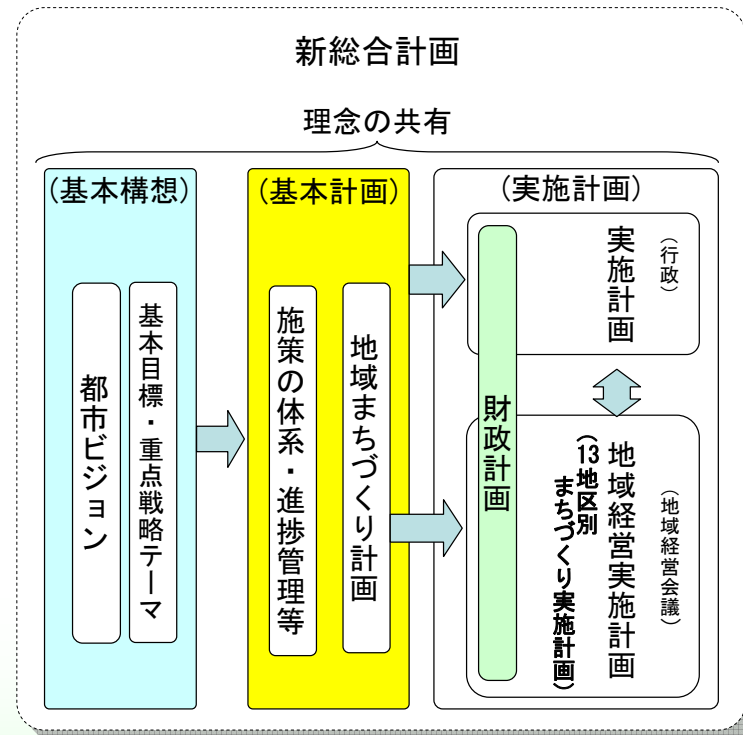


②地域主体の計画体系

従来モデル



ふじさわモデル



計画に位置づけることで、地域まちづくりを確実なものにします。



③地域完結型「藤沢モデル」の まちづくりを発信

従来モデル



ふじさわモデル



予算と権限を含めた、
地域経営会議によるまちづくりを実践します。



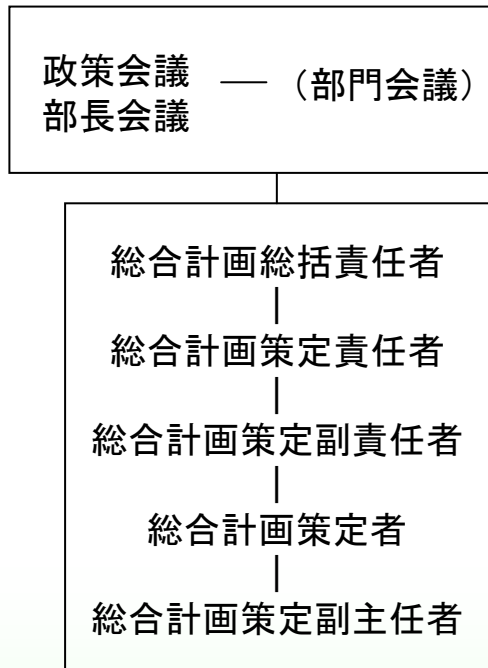


13地区ごとに、地域の特性や文化を活かした、
個性とうるおいのあるまちづくりの展開

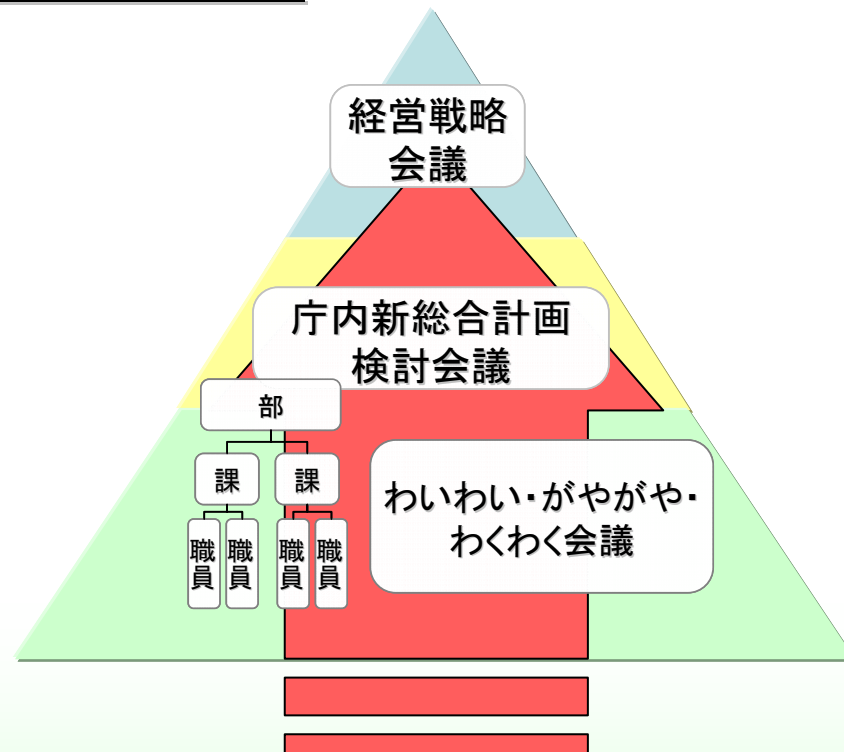
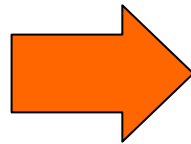


④職員力による計画策定

従来モデル



ふじさわモデル

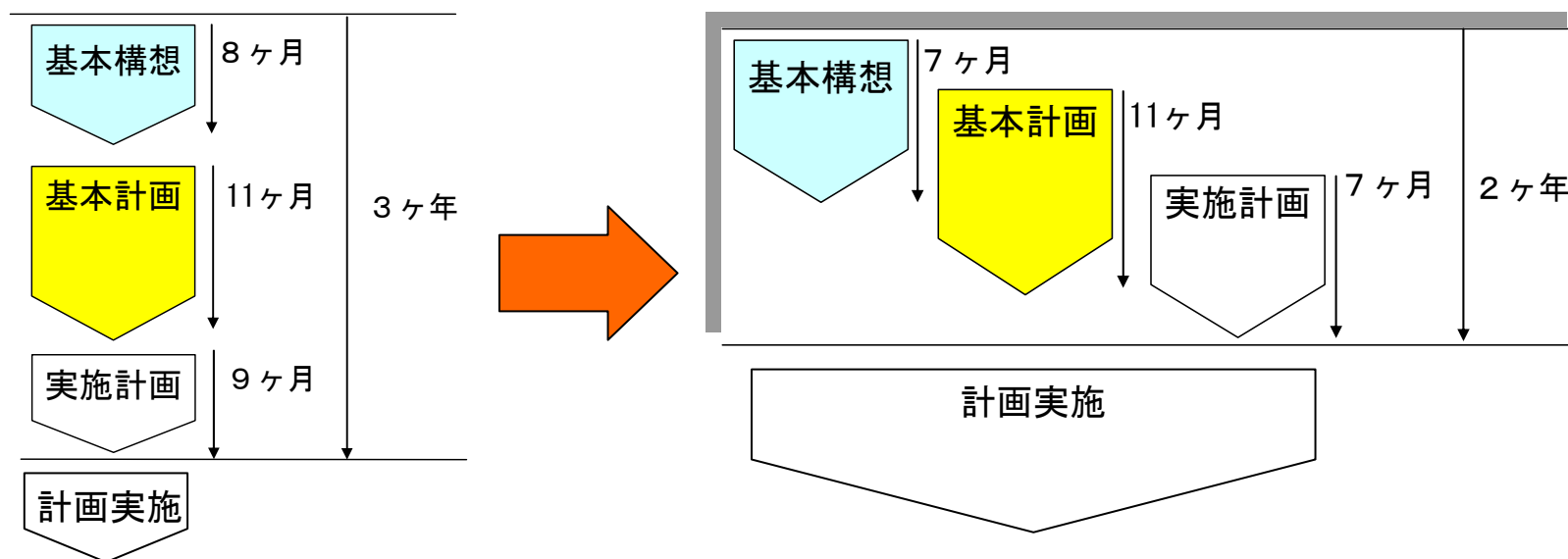


計画の「伝道者」となる若手職員からのボトムアップ型で策定します。



⑤2年で計画を策定

従来モデル



新総合計画 2011年よりスタート!

会議の質の向上, 効率的・効果的な会議手法によりスピーディに策定



fin



一生住み続けたいまち 湘南藤沢